

令和5年度佐賀県小・中学校学習状況調査の 実施及び結果概要

1 調査の目的

佐賀県の公立小・中学校及び義務教育学校の児童生徒の学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。各学校は、児童生徒の調査結果を踏まえた指導改善を行うとともに、教育委員会は、課題解決に向けた施策の見直しや充実を図る。

なお、調査に当たっては、市町教育委員会と県教育委員会が連携・協力し実施する。

2 調査対象及び実施日

校種	対象学年	対象範囲	実施日
小学校	5年生	全児童生徒	令和5年4月18日（火）
中学校	2年生		

※ 小学校には、義務教育学校前期課程及び県立特別支援学校小学部を含む。

中学校には、義務教育学校後期課程、県立中学校及び県立特別支援学校中学部を含む。

3 調査内容と方法

学習指導要領の各教科に示されている目標や内容を踏まえた児童生徒の学習状況を把握する調査とする。

対象学年に対し、下に示す教科について実施日をそろえて調査を実施する。

なお、調査所要時間は、小学校は1教科40分、中学校は1教科45分とする。

校種	対象学年	実施教科		
小学校	5年生	国語	算数	
中学校	2年生	国語	数学	英語

4 調査実施人数

校種	対象学年	実施学校数（校）	実施人数（人）
小学校	5年生	162	7,128
中学校	2年生	92	6,771
		計	13,899

※ 小学校数には、義務教育学校前期課程（6校）及び県立特別支援学校小学部（2校）を含む。

中学校数には、義務教育学校後期課程（6校）、県立中学校（4校）及び県立特別支援学校中学部（4校）を含む。

5 令和5年度調査の結果

○ 目標値〔注1〕との比較

- ・目標値を上回ったものは、5教科中1教科（小学5年生国語）であった。
- ・5教科中4教科（小学5年生算数、中学2年生国語、数学、英語）が目標値を下回っており、課題が見られた。

【参考】 全参加者の平均正答率〔注2〕との比較

- ・全参加者の平均正答率を上回ったものは、5教科中0教科であった。

注1	学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合
注2	委託業者から提供された本調査に参加している児童生徒（各教科約8万人）の平均正答率

〔表〕各学年・教科毎の状況

校種	対象学年	教科	佐賀県（公立）の平均正答率（a）	目標値（b）	目標値に対する割合（a/b）	【参考】全参加者の平均正答率（c）	【参考】全参加者の平均正答率に対する割合（a/c）
小学校	5年生	国語	67.4	67.3	1.00	70.0	0.96
		算数	61.6	64.8	0.95	67.1	0.92
中学校	2年生	国語	59.4	61.3	0.97	63.9	0.93
		数学	50.1	55.0	0.91	53.4	0.94
		英語	40.7	50.3	0.81	46.1	0.88

〔グラフ〕各学年・教科毎の状況

